

令和元年

高次脳機能障害 講演会

品川区にお住まいの方で

当事者やご家族が高次脳機能障害と分からずにお困りになっている方

高次脳機能障害の対応が困難なご家族の方に

高次脳機能障害は脳疾患・頭部外傷・感染症等により、脳を損傷して生じる障害です。高次脳機能障害の人は日常生活の中でさまざまな不都合や暮らしにくさに直面します。しかし、外見から判りにくいため、周囲の人や家族さえ気がつかず理解されない場合もあります。そこで、今回は当事者や家族、関心のある方に高次脳機能障害を理解して頂き、家族会を知って頂くための講演会です。ぜひ、お気軽に参加してください。



日時

令和元年11月17日(日)
午後1時半～午後4時

参加費 無料

先着 80名

会場

品川区立障害児者総合支援施設
多目的室Ⅱ(ホール)

品川区南品川3-7-7 ☎03-5460-1270
京急線「青物横丁駅」下車 徒歩8分
大井町発八潮方面行バス「青物横丁」下車 徒歩8分

内容 & 講師

1部

講演

「重複障害を負った脳神経外科医の歩み
～社会復帰後17年を迎えて～」

講師：佐藤 正純 先生

(元脳神経外科専門医：横浜市立大学附属病院)



2部

家族会
紹介

活動内容について

定例会の紹介(グループワーク・家族相談会)

顧問：川手 信行 先生(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)

グループワーク指導：伊藤 滋唯 PT(ケアセンター南大井)

主催：品川区高次脳機能障害者と家族の会

後援：品川区

品川区社会福祉協議会

(共同募金配分金活用)

お申し込みは

渡辺(家族会代表)まで
ご連絡ください。

TEL 03-3781-0921

FAX 03-3781-9126

● プロフィール ●

さとう まさすみ
佐藤 正純

1984年 群馬大学医学部医学科を卒業。横浜市立大学医学部脳神経外科学教室に入局し、脳神経外科専門医を志す。医師となってから12年後の37歳の時にスノーボード中に受傷。脳外傷による皮質盲と症候性パーキンソニズムによる運動失調、そして高次脳機能障害などが合併した重度障害者となる。リハビリテーション病院にてリハビリテーションに勤しむも社会復帰は不可能と宣告される。しかし、ご自身で様々な取り組みと努力を重ねられた結果、6年後には医療福祉専門学校の講師として社会復帰、その後17年間は5つほどの大学の非常勤講師として与えられた課題についての医学教育や、有料老人ホームで12年間医療相談員として福祉への貢献、全国50か所で障害者リハビリについての講演活動、音楽などの社会活動を経て現在に至る。

今回は重度障害者として社会復帰を果たすまでの課程を紹介して頂くとともに、医師と患者、障害者と健常者の両面から社会を見てきた経験についてお話し頂きます。

かわて のぶゆき
川手 信行

昭和大学病院医学部リハビリテーション医学講座教授
リハビリテーション専門医
品川区高次脳機能障害者と家族の会 顧問

いとう しげただ
伊藤 滋唯

ケアセンター南大井理学療法士
「品の輪」品川区リハビリテーションネットワーク代表
品川区高次脳機能障害者と家族の会
グループワーク指導責任者

品川区高次脳機能障害者と家族の会 これまでの経緯

平成21年7月26日創設

毎月第3日曜日定例会「ひだまり広場」を開催する。

毎年7月、医療・福祉関係機関を招き交流会を開催し、平成22年より年に1回、品川区・大田区・目黒区の高次脳機能障害の家族会が連携し、3区合同イベントを開催しています。

平成27年、家族会の名称を変更、定例会の充実を図り、定例会にグループワークと家族相談会を行っています。

同時に会員募集と高次脳機能障害の啓発のため、家族会主催で、年に1回講演会も開催しています。

レクリエーションや調理実習・新年会など、当事者と家族が楽しめる行事も多く企画しています。



会場：品川区立障害児者総合支援施設

品川区南品川3-7-7 ☎03-5460-1270

京急線「青物横丁駅」下車 徒歩8分

大井町発八潮方面行バス「青物横丁」下車 徒歩8分